

地域医療介護総合確保基金を活用した補助制度について

1. 経緯

地域医療介護総合確保基金を活用した補助制度の実施に当たっては、地域医療構想調整会議において議論する必要があることから、令和 6 年度第 1 回及び第 2 回青森県（青森地域）地域医療構想調整会議で協議したところである。

今般、新たに事業計画が提出されたことから、令和 6 年度第 3 回青森県（青森地域）地域医療構想調整会議において協議する。

2. 内容

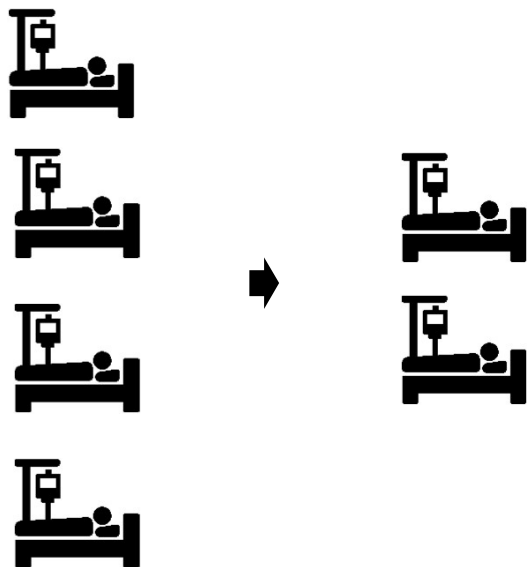
地域医療介護総合確保基金を活用した補助制度のうち、病床数適正化事業費補助金に係る事業計画について、青森市民病院から提出された。（次ページを参照）

地域医療介護総合確保基金を活用した補助制度

～病床の機能分化・連携を推進するための医療機関の取組を支援～

4 病床数の見直しへの支援

高度急性期、急性期及び慢性期機能（以下「対象3区分」という。）の病床を削減した病院等に対する補助



区分	補助対象	基準額	補助率
病床規模の適正化	対象3区分の稼働病床における削減病床数	1,710千円（削減する病床1床あたりの平均支給額※） × 削減病床数	定額

※対象3区分の病床稼働率に応じ、削減する病床1床当たり下表の額を支給します。

病床稼働率	削減した場合の1床当たりの単価
50%未満	1,140千円
50%以上60%未満	1,368千円
60%以上70%未満	1,596千円
70%以上80%未満	1,824千円
80%以上90%未満	2,052千円
90%以上	2,280千円

【補助対象】 病院、有床診療所

【主な補助要件】

- 地域医療構想の実現に向けた必要な取組であること。
- 対象3区分の稼働病床規模の見直し（H30病床機能報告における対象3区分として報告された稼働病床数から10%以上削減すること。）

（令和6年度事業計画）病床数見直しへの支援
「病床数適正化推進事業費補助金」

（単位：円）

年度	構想区域	医療機関名	病床数見直し	交付（予定）額	備考
R6	青森	青森市民病院	459床（高度急性期23床、急性期387床、休棟等49床） ⇒352床（高度急性期18床、急性期334床）	92,568,000	
計				92,568,000	